

親子聖書日課

NO.1882 2024.10/20-26

名前

[日]「御言葉は速やかに走る」とは、神の命令と約束が世界中に行き渡ることです。その方法はインターネットだけではありません。主を信じた者が喜んで主を賛美し、感謝の生活を送るなら、福音は速やかに伝わります。神様ネットを広げましょう。

[月]全地よ「主の御名を賛美せよ」とはスケールの大きな詩です。主が全てのものを創造されたからです。それと「御自分の民の角を高く上げて下さる」からです。この角とは「主の十字架の赦し」の事、十字架を見上げる時、賛美は絶えません。

[火]「口には賛美、手には両刃の剣」は、矛盾しません。賛美に剣は必要です。それは罪の奴隷状態から人間を救い出すために、御言葉という両刃の剣によって心が砕かれないと、本当の平和は来ないからです。聖書と讚美歌は必需品です。

[水]詩編の最後はハレルヤで終わっています。私たちの人生は、雨が降っても、雪が降っても、ハレルヤです。いつでもどこでも、ハレルヤと賛美し、感謝しましょう。すると、悩みが消え去り、喜びと平安に満たされます。ハレルヤ人生を歩みましょう。

[木]箴言という言葉は「鍼(ハリ)」から来たように、人生のつばに差し込み、健康な心にする格言です。7節は箴言全体のテーマです。「主を畏れる」主を尊び、主を第一に生活するなら、知恵が与えられ、必要が満たされ、心豊かに生きることができます。

[金]昔は、金よりも銀の方が尊ばれ、値打ちもありました。今でも「銀座」「銀行」と呼ばれます。銀を見つけ出すのも、精錬するのも大仕事でした。「銀を求めよう」に「主を求めよう」ならば、知恵が与えられ、いつでも輝いて生きることができるのです。

[土]まっすぐな道は運転も楽なように、私たちの人生もまっすぐな道ほど快適で、目的を早く達成することができます。そんな道を歩むためには、人生のハンドルを主に明け渡し「常に主を覚え」て、御言葉に聴従することです。命に至る道を歩めます。



	聖書	問題	答え
日	詩編 147:1-20	御言葉は速やかにどうしますか。	
月	148:1-14	主は御自分の民の何を高く上げて下さいますか	
火	149:1-9	手には何を持つ必要がありますか。	
水	150:1-6	どんなものはこぞって主を賛美せよ、ハレルヤですか。	
木	箴言 1:1-33	主をどうすることは知恵の初めですか。	
金	2:1-22	何を授けるのは主ですか。	
土	3:1-35	主はあなたの道筋をどうして下さいますか。	
感想と祈りの課題			